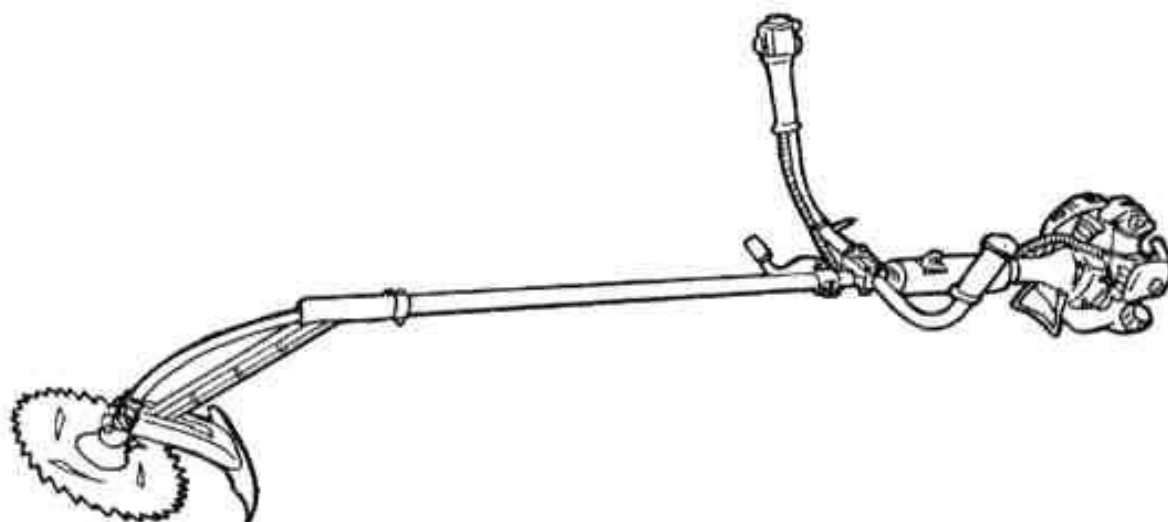


E-JE

刃角度可変シヨルダ式刈払機

V260M-VP

取扱説明書



▲注意

- ・製品をお使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- ・取扱説明書はいつでも読めるように大切に保管して下さい。



山田機械工業株式会社

はじめに

このたびはビーバー刈払機をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は製品の正しい取扱方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。初めてお使い頂く方はもちろん、すでにご使用の経験をお持ちの方にも再認識する上でお役に立つものと考えております。この取扱説明書および別冊エンジン取扱説明書も合わせて繰り返しお読み頂き、良くご理解頂いた上、安全で効率の良い作業を始めてください。

ビーバー刈払機の常におこたらない品質改良のため、取扱説明書の中にお買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。あらかじめご了承下さい。お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきましてご質問がおありの場合は、お買い上げ店または弊社営業所までお問い合わせ下さい。

▲安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた▲の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な事項です。よく読んで必ず守ってください。




・ 注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

- ▲ 警告** : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるもの示しています。
- ▲ 注意** : 注意事項を守らないと、けがを負う恐れのあるもの示しています。
- 重 要** : 注意事項を守らないと、機械の損傷や故障の恐れがあるもの示しています。
- 補 足** : その他、使用上役立つ補足説明を示します。

・ 操作装置のシンボルマーク

運転操作および保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。これらの表示に従って誤操作のないようにご注意ください。

マーク表示部位	図 柄	意 味
燃料タンクキャップ		使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを表します。
エアクリーナカバー		このマークの方向にレバーを操作すると、チョークが閉じることを示します。
		このマークの方向にレバーを操作すると、チョークが開くことを示します。

注：機種によって図柄は異なることがあります。

安全に作業するために	3
本製品をお使いになる前に	3
作業時の服装	3
火災防止	3
作業前の点検	3
作業時の注意	4
警告ラベルとその取扱い	5
ラベルのメンテナンス	5
1. 仕様・性能	6
2. 各部の名称	6
3. 組立	7
エンジンとメインパイプの組付	7
Uハンドルの組付	7
スロットルワイヤの組付	7
ストップスイッチコードの接続	7
飛散防護カバーの取付	8
巻付防止カバーの取付	8
刈刃の取付	8
移動時カバーの取付	9
4. 燃料	9
5. エンジンの始動と停止	9
エンジンの始動	9
エンジンの停止	10
6. 刃角度変更装置	10
AC レバー	10
手前に引く	10
もどす	10
7. 刈払作業	11
8. 各部の手入れと長期保管	11
刈刃	11
AC レバー	12
グリス	12
注油清掃	13
点検項目	13
長期保管	13

▲安全に作業するために

刈払機を安全にご使用頂くためには、正しい操作と定期的な保守が必要です。

取扱説明書および別冊エンジン取扱説明書に示されている内容をよくお読みになり、十分に理解されるまで刈払作業ならびに保守作業は行わないで下さい。

この取扱説明書に示されている操作方法および安全に関する注意事項は、刈払機を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。

1 本製品をお使いになる前に

- ・本製品は刈払専用機です。不測の事故を防ぐため、本来の使用目的以外には使わないで下さい。
- ・本製品は高速回転する刃物を装備しています。操作を誤ると大変危険です。次のような場合は作業を行わないで下さい。
 - ①疲労など体調が悪い場合や、かぜ薬の服用時、飲酒時での作業。
 - ②風の強い日や降雨、雷など天候の悪い時。
 - ③夜間や濃霧など、周辺の状況判断がむずかしい時。
 - ④子供や、説明を受けていない人には使用させないで下さい。
- ・作業は30～40分を限度とし、10～20分休憩を取り、決して無理な作業はしないで下さい。
(参考) 国有林では作業者の健康管理のため次のような基準が設けられています。

作業は連続3日を限度として

1回の連続作業時間	30分以内
1日の作業時間	2時間以内
1週の作業日数	5日以内
1月の作業時間	40時間以内

- ・補給用燃料容器は丈夫で、密閉できるものを使用して下さい。
- ・エンジンの排気ガスによる中毒を防ぐため、換気の悪い場所での使用はしないで下さい。
- ・この取扱説明書は必ず保管して、分からないことがあった場合、必要に応じてご参照下さい。
- ・本製品を譲渡または貸与するときは、使用方法の説明とともに、この取扱説明書を必ず添付して下さい。

2 作業時の服装

- ・刈払作業には次のような用品を着用して下さい。
 - ①すそを絞った長袖の上着と長ズボン。
 - ②滑り止めの付いた長靴または安全靴。
 - ③帽子またはヘルメット、防護メガネ。
 - ④丈夫な手袋、耳栓など。

3 火災防止

- ・非常に引火しやすいガソリンを燃料としているため、次の事項をお守り頂かないと、火災の原因となります。
- ・燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止し、くわえタバコなどまわりに火の気がないこと、燃料洩れがないことを確認して下さい。
- ・燃料を補給するときは、燃料をこぼさないようにし、もしこぼしたときは必ずふき取ってください。こぼしたまま作業を行うと、マフラの熱や、電気系統のスパークによる火災を起こし、やけどを負う危険性があります。
- ・給油後、燃料容器は密閉し火の気がなく、日の当たらない涼しいところに置いて下さい。
- ・エンジンを運転したまま、または停止直後は、マフラが熱いので枯れ草などの上に置かないで下さい。

4 作業前の点検

- ・作業前には必ず各項目に従って点検を行って下さい。
- ・点検は必ずエンジンを停止してから行って下さい。

▲安全に作業するために

- ・エンジンが停止中でも安全のため、ストップスイッチは必ずOFF（停止）にしてください。
（押しボタン式は除く）
- ・停止直後は、マフラや点火プラグに触れないで下さい。やけどの危険性があります。
- ・製品の改造、分解はしないで下さい。故障や正常な操作ができなくなる危険性があります。
- ・各ボルト、ナット、シャフトにゆるみやガタがないこと、特に刈刃の粗込みが完全なこと、ギヤケースの支持部にガタのないことを確認して下さい。
- ・刈刃に「チップ飛び」「亀裂」「欠け」「曲がり」などがないことを確認し、異状のある場合は新品の刈刃と交換して下さい。
- ・交換部品はすべて、ピーバー純正部品を必ず使用して下さい。特に刈刃部への代用部品の使用はさけてください
- ・ときどき刈刃と刃受金具（刃押せ上）を外しベアリング部に入りこんだ草、土、ほこりなどを取り除いて下さい。
- ・転倒や不意の姿勢変化により、作業機が作動して思わぬ負傷をすることがあります。次のような場合は必ず、エンジンを停止して下さい。
 - ①移動や作業が終了して、本機を持ち運びする場合。
 - ②巻付いた草などを取り除く場合。
 - ③作業中に後方より声をかけられた場合、振り向く前にエンジンを停止して下さい。
- ・作業者に近づく場合は、木切れなどを作業者のそば近くに投げて合図をして下さい。また笛を利用することもお勧めします。
- ・やけど防止のため、運転中および停止直後は、エンジン本体、マフラなどが高温のため、触れないように注意して下さい。
- ・刈刃は必ず機種に応じて指定したピーバー純正の刈刃を使用して下さい。
- ・作業中草などに隠れた石や木の切株などに十分注意して下さい。もし刈刃がこれら硬いものに当たった場合は、すぐにエンジンを停止し刈刃に異状がないか点検し、異状がある場合は交換して下さい。
- ・傾斜地などは滑りやすいので足元に十分注意して下さい。
- ・作業中ハンドルやグリップをしっかりと握って操作して下さい。不意に硬いものが当たった時に手が外れることがあり危険です。
- ・作業が終わって移動、または収納する場合は刈刃に移動時カバーを必ず取付けて下さい。

5 作業時の注意

- ・エンジン始動の際、周囲に人がいないこと、刈刃が地面その他のものに触れていないことを確かめて下さい。
- ・感電ショックを受けないよう運転中は、点火プラグキャップや、高圧コードに触れないように注意して下さい。
- ・作業者の周囲 15m以内に人を近づけないで下さい。
- ・飛散防護カバーを外した状態で使用しないで下さい。
- ・使用中異状振動や異常音を感じたら、ただちにエンジンを停止し詳細に点検して下さい。

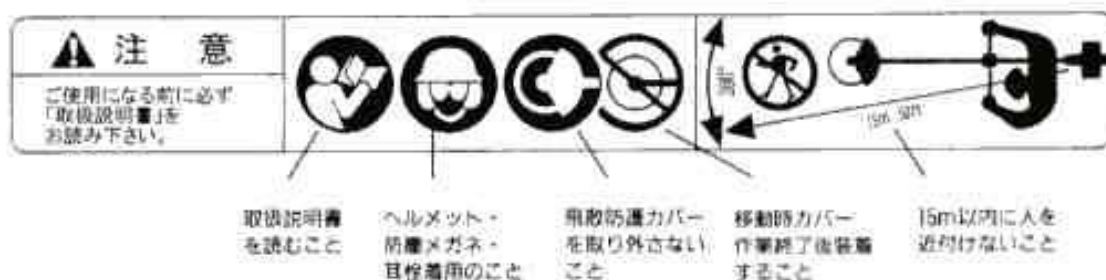
▲ 警告

- ・機械の改造は危険ですので、改造しないで下さい。
- ・改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用方法と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意下さい。

▲安全に作業するために

■ 警告ラベルとその取扱い

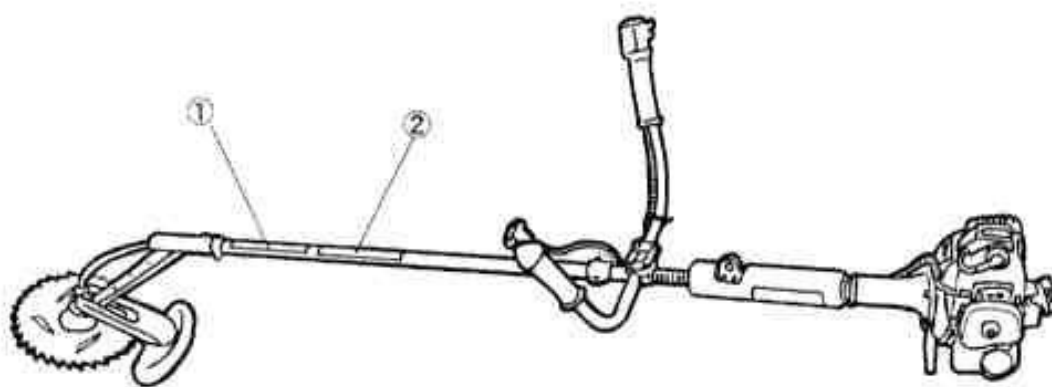
① 警告ラベル



② 型式名ラベル



- ・上記ラベルはメインパイプ（桿本体）に貼り付けてありますが、エンジン部に貼り付けのラベルについての詳細は別冊エンジン取扱説明書をご覧ください。



■ ラベルのメンテナンス

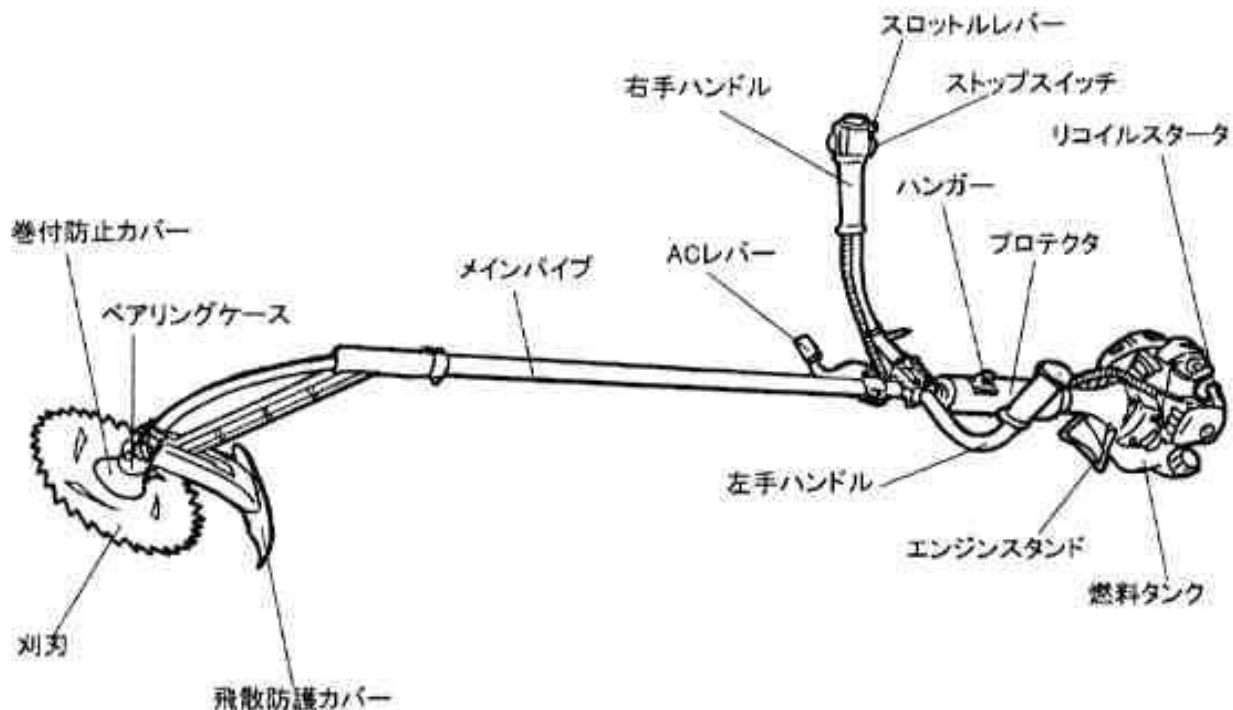
- (1) 警告ラベルは、いつもきれいにしておいて傷をつけないようにして下さい。
- (2) 警告ラベルが汚損したりはがれた場合は、お買い上げの販売店に注文し、新しいラベルと貼り替えて下さい。
- (3) 新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

1. 仕様・性能

名称	ビーバー刃角度可変式肩掛形刈払機	
型式	V260M-VP	
ハンドル形式	Uハンドル	
質量 kg	5.0	
外形寸法 (全長×全幅×全高)mm	1680×610×430	
刈刃	9インチ (外径 230mm) チップソー	
刈刃回転方向	上から見て反時計方向	
動力伝達方式	フレキシブルシャフト φ6	
刃角度変更装置	10段レバー式	
エンジン	形式	空冷2サイクルピストンバルブ式ガソリンエンジン
	排気量 cc	25.6
	点火方式	無接点マグネット式
	点火プラグ	NGK BM6A
	キャブレタ	ダイヤフラム、ロータリバルブ式、Hi ニードル付
	燃料	2サイクル専用オイル混合ガソリン(ガソリン:2サイクル油=25:1)
	燃料タンク容量 リットル	0.6
	始動方式	リコイルスタータ
エアクリーナ	半湿式	

・質量は飛散防護カバー、肩掛バンド、刈刃、エンジンスタンドを含んでおりません。

2. 各部の名称



3. 組立

エンジンとメインパイプの組付

メインパイプのクラッチハウジングとエンジンスタンドを付属のボルト(M6×20)でエンジンに組付けて下さい。

重要

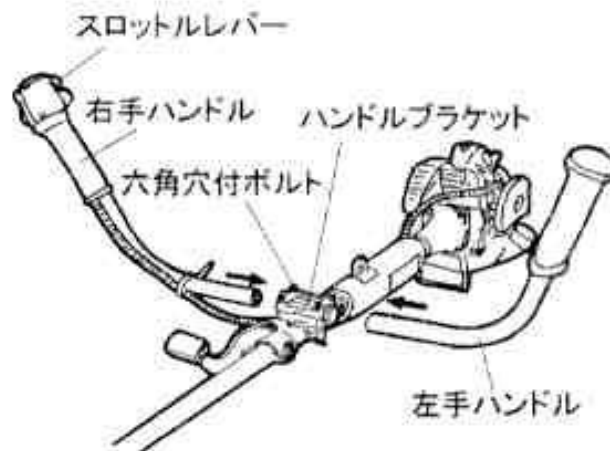
↓ 本のボルトはゆるまないよう均等で確実に締め付けて下さい。

補足

エンジンの燃料タンクが下、メインパイプの先端の刈刃取付部も下になるように取付けて下さい。

Uハンドルの組付

- ①メインパイプに取付けられているハンドルブラケットの六角穴付ボルト↓本を付属のスパナでゆるめて下さい。
- ②右手ハンドル(スロットルレバー付)、左手ハンドルを差し込み、端部同志の合わせ面が中央に来ようボルトを均等に締め付けて下さい。



▲注意

使用中にハンドルが動かないようしっかりと確実に締め付けて下さい。

スロットルワイヤの組付

- ①メインパイプに組込んであるスロットルワイヤの端子をアジャストナットに通して下さい。
- ②キャブレタの端子取付部をワイヤ側に回しながらワイヤ取付部の凹みにはめ込んで下さい。
- ③ワイヤの遊びが1~2mmになるようアジャストナットを調整して下さい。

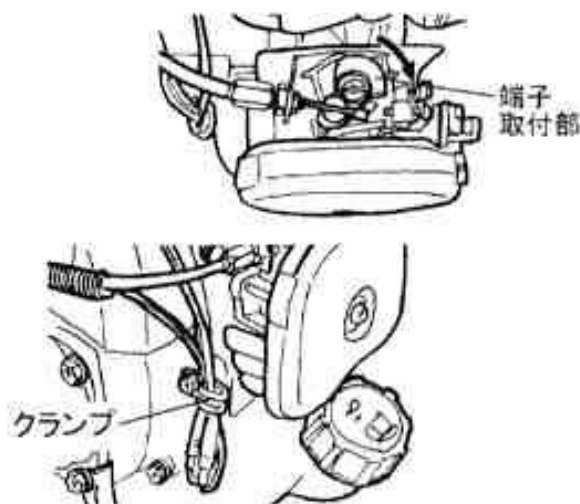


ストップスイッチコードの接続

- ①スロットルワイヤと一緒に組込んであるスイッチコードの端子をエンジン部の端子に接続して下さい。
- ②エンジンのクランプにスイッチコードを固定して下さい。

補足

スイッチコードやスロットルワイヤが刈払作業中、木の枝などに引っ掛かる恐れがあるので、本機からはみ出さないように固定して下さい。

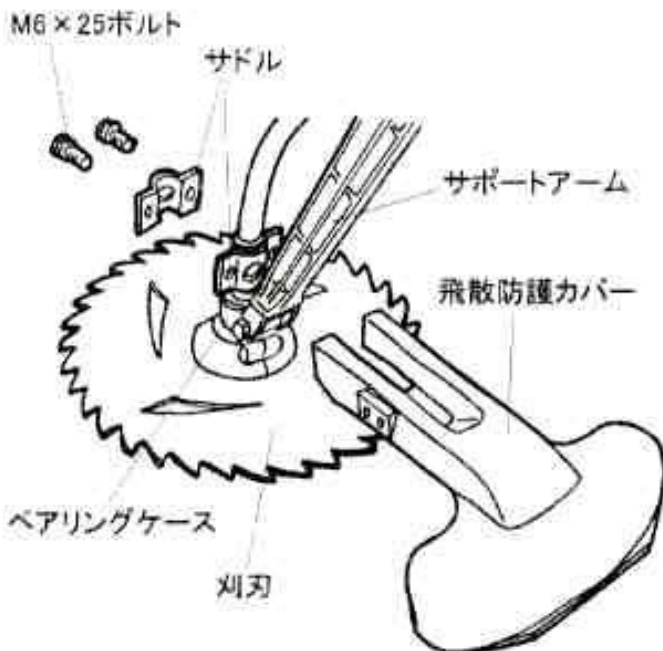


飛散防護カバーの取付

- ①ベアリングケース上部の細い部分にサドルを両脇に当て、ボルト(M6×25)2本で締め付けて下さい。
- ②締め付け後、刈刃の角度を変えてみてカバーとサポートアームが触れないことを確認して下さい。

▲
警
告

- ・ 刈刃との隙間十分とって、刈刃に飛散防護カバーが触れないように組み付けて下さい。
- ・ 飛散防護カバーは所定の位置へしっかり取付けて下さい。取り外したりゆるんだままご使用になるとカバーが刈刃に触れて破損したりはね返った石や木切れなどで重大な人身事故につながる恐れがあります。



巻付防止カバーの取付

- ①巻付防止カバーの内側の溝をベアリングケースの外側の突起に合わせて、少し広げながら押し込んで下さい。
- ②付属のタッピンスクリューで締め付けて下さい。

刈刃の取付

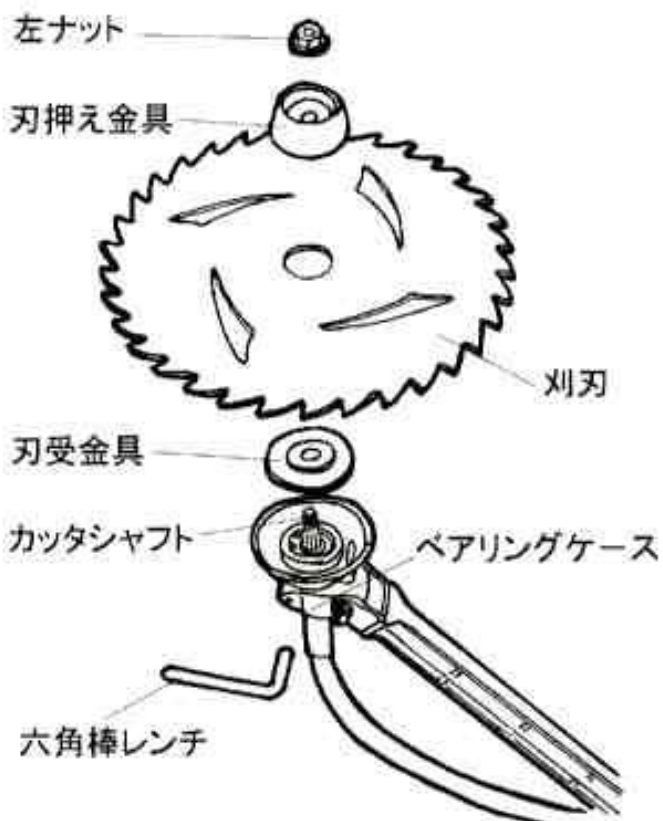
- ①刃受金具をカッタシャフトにはめ、六角棒レンチを差し込んで回り止めにして下さい。
- ②刈刃をピーパーマークのある面をベアリングケース側にして、刈刃の中央の穴を刃受金具の凸部にはめて下さい。
- ③刃押え金具の凹部を刃受金具の凸部とカッタシャフトにはめ込んで下さい。
- ④左ナットで確実に締めつけて下さい。

重要

- ・ 刈刃を交換するときその都度刃受金具も外し、ベアリング部に入りこんだ土や草をきれいに取除いて下さい。ベアリング摩耗によるガタ、さびなどが発生しシャフトが外れる恐れがあります。
- ・ 外径 230mm (9 インチ) を越える大きさの刈刃は使用しないで下さい。

▲
警
告

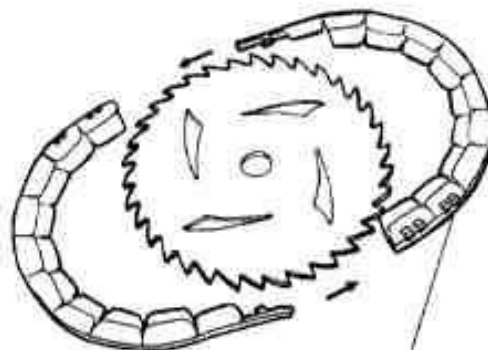
- ・ 刈刃の交換は必ずエンジンを停止して行って下さい。
- ・ 取付後、刈刃およびカバーが完全に取付けられていることを確認して下さい。
- ・ 刈刃取付部品は、他機種と混用しないで下さい。規格やサイズが合わない場合があると、刈刃が外れて重大な人身事故につながる恐れがあります。



移動時カバーの取付

作業が終わって移動したり収納する場合は、刈刃に移動時カバーを取付けて下さい。

▲ 警告 作業が終わって本機を持ち歩きする場合は刈刃が人や物に触れる恐れがあるので必ず移動時カバーを取付けて下さい。



230m/mの位置で止めて下さい。

4. 燃料

燃料はガソリンと空冷2サイクルオイルを25:1の割合の混合燃料をご使用下さい。

重要

- ・ オイルは必ず空冷2サイクルエンジン用オイルを使用して下さい。4サイクルエンジン用オイルを使用するとプラグ、マフラ、シリンダ内のカーボンの付着が多くなります。
- ・ 変質して異臭のする古い燃料は始動不良や、出力不足の原因になりますのでご使用にならないで下さい。余った燃料は屋内の冷暗所に保管して下さい。

▲ 注意

- ・ 給油はまわりにタバコなどの火の気のないところで行って下さい。
- ・ 給油の際、燃料をこぼしたときは、エンジンを始動すると火災の恐れがあるので、必ずふき取って下さい。



5. エンジンの始動と停止

エンジンの始動

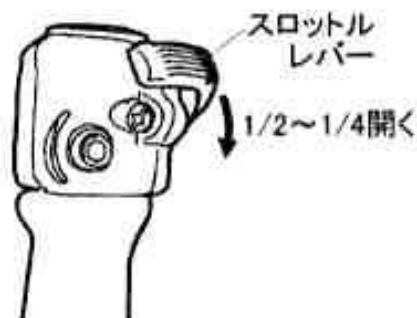
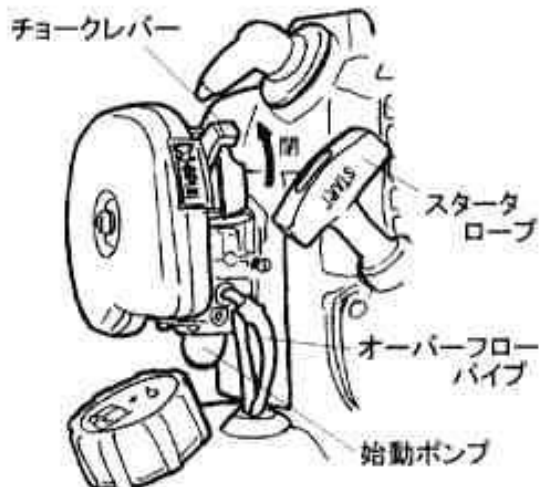
- ① キャブレタの下にある始動ポンプを数回押し、オーバーフローパイプに燃料が流れるのを確認したら押すのをやめて下さい。
- ② スロットルレバーを1/2~1/4開いて下さい。
- ③ チョークレバーを閉にし、刈払機をしっかり保持し、スタータローブを勢いよく引いて下さい。

補足

エンジンの停止直後の始動には、ポンプを押さずにチョークを開にしスロットルレバーを戻した状態でスタータローブを引いて下さい。

▲ 警告 始動時は刈刃が地面に触れていないこと、まわりに人がいないことを確認して下さい。始動と同時に刈刃が回転するため危険です。

- ④ エンジンが始動したらチョークを徐々に開きスロットルレバーをもどして2~3分暖機運転をして下さい。



重要

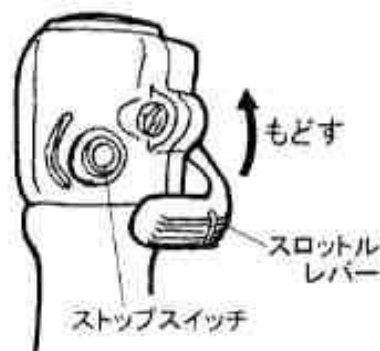
ロープは最後まで引ききったり、引張った状態から手を離さないで下さい。

エンジンの停止

- ①スロットルレバーを完全に戻して下さい。
- ②ストップスイッチをエンジンが停止するまで押し続けて下さい。

重要

緊急時を除く高速回転からの停止は、エンジンに無理がかかります。必ず低速回転にしてから停止して下さい。



6. 刃角度変更装置

ACレバー

- ・ACレバーによって、メインパイプに対する刈刃の回転軸（カッタシャフト）の角度を変更することができます。
- ・刃角度を適正に変更して、無理な姿勢をせず、あらゆる立地条件で作業ができます。

手前に引く

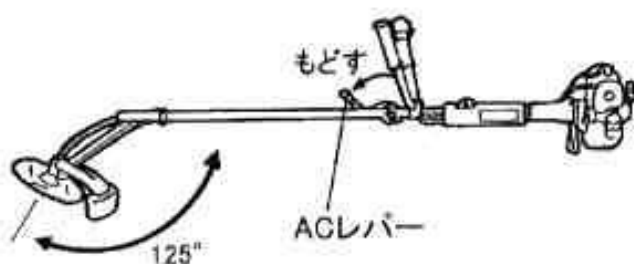
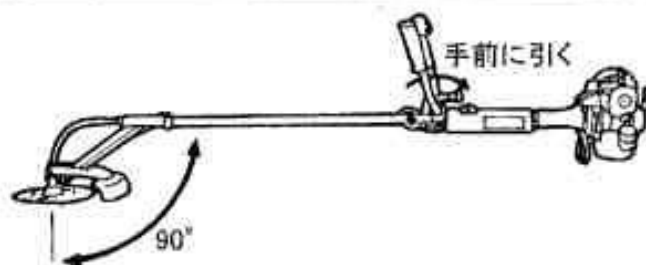
- ・手前に引くと、刈刃の回転軸の角度はメインパイプに対して最大90°となります。
- ・畦の上から下に向かっての作業や、畦の下から畦の斜面を刈るときに斜面に合わせて刃角度を調整して下さい。

もどす

- ・いっぱいにもどすと、刈刃の回転軸の角度はメインパイプに対して125°となります。
- ・平坦地での作業や、傾斜に向かって登るような作業などに適しています。
- ・平坦地での作業では、身長や好みに合わせて刃角度を変更して下さい。



刃角度変更は必ず、刃の回転が止ってから行って下さい。



7. 刈払作業

▲ 警告 作業を始める前に必ず、3 ページ、4 ページの「安全に作業するために」の事項を守って下さい。

- ①肩掛バンドを肩にかけ、バンドの長さを身長に合わせて下さい。
- ②AC レバーを作業条件に合わせ、刈刃が地面とほぼ平行になるようにして下さい。
- ③エンジン回転を草の状態によって調整して下さい。柔らかい春草などはスロットルを半開程度、秋草や密生している草は 2/3 開程度に回転を上げて下さい。
- ④足は左右に 60~70cm 開き、右足を前にし、右足から進むようにします。刈刃は左に 30° 傾け状態で右から左に向かって振ります。刈刃いっぱい刈ろうとせず、刈刃の左前半分で刈るようにして下さい。

重要

本刈払機は草刈専用ですので、山の下刈りなどの木の切断には使用しないで下さい。ジャバラ、フレキシブルシャフトなどの破損の原因となります。

補足

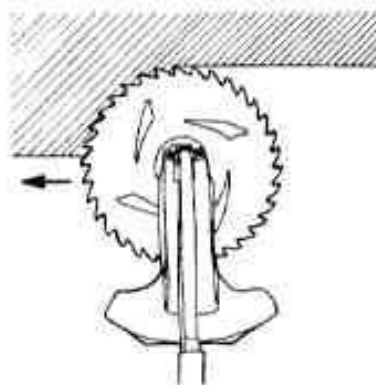
- ・ 刈刃の回転が低くすぎると草の巻付きが多くなるばかりでなくクラッチの早期摩耗の原因ともなります。
- ・ 刈刃いっぱいの幅で刈ろうとすると、刈り残しができたり、刈った草がきれいにそろわず飛散したりします。

▲ 警告

- ・ 刈払作業はどのような場合でも、刈払い対象物を刈刃の左側で切るように、必ず右から左に向かって切って下さい。これは刈刃の回転が左回転のため、刈刃の右側に硬いものが当たると、刈刃が急速度で作業者にはねかえってくることもあり非常に危険だからです。
- ・ 刈払作業の際、草に隠れた石や木の切りが部には十分注意して下さい。刈刃が欠けたり石が手前に飛んでくることもあり危険です。



左足は少しさげる



左前半分で刈る

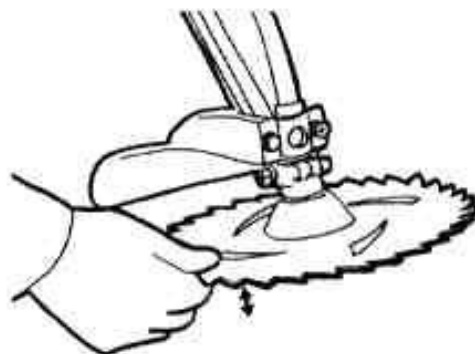
8. 各部の手入れと長期保存

▲ 警告

- ・ 点検整備は必ずエンジンを停止してから行って下さい。
- ・ 本機の改造や分解はしないで下さい。
- ・ 点検整備は作業前および終了した都度行って下さい。

刈刃

- ①刈刃部のシャフト、ボルト、支持部にガタやボルトのゆるみがないか確認し、異状がある場合は増し締めまたは交換して下さい。



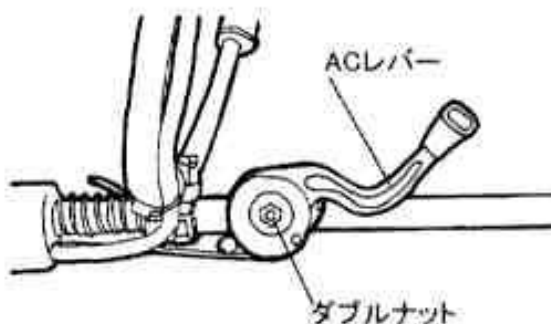
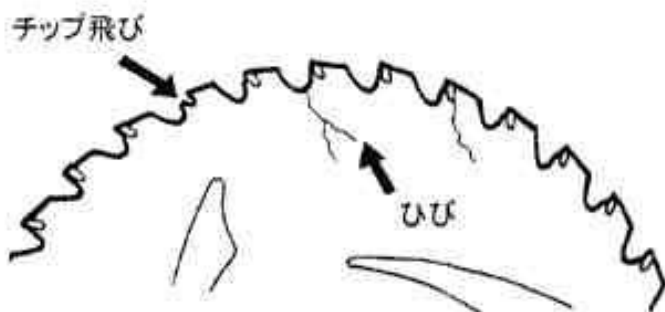
- ②刈刃や飛散防護カバーに草やビニールが巻付いていないか確認して下さい。また、巻付防止カバーや、刃受金具の中に巻付いた草やビニールが入っていないかも確認して下さい。
- ③刈刃に「チップ飛び」「亀裂」「欠け」「曲がり」などが無いかに特に注意して点検して下さい。異状のある場合は新品と交換して下さい。

重要

- ・刈刃の切れ味が悪いとエンジンやシャフトに無理がかかるばかりでなく、作業能率も低下し疲労度や危険性も増します。
- ・巻付防止カバーや刃受金具の中に巻付いた草やビニールが入ったまま使用すると、回転が上がらなったりベアリングの異状摩耗などの故障につながり危険です。

ACレバー

- ①ダブルナットにゆるみがないか、レバーにガタがないか点検してください。
- ③ナットがゆるんでいるときや、レバーの動きがゆるすぎる場合は、ダブルナットを締めてください。



グリス

使用 20 時間ごとに、もしくは振動を感じたときはフレキシブルシャフトへグリスを補充して下さい。

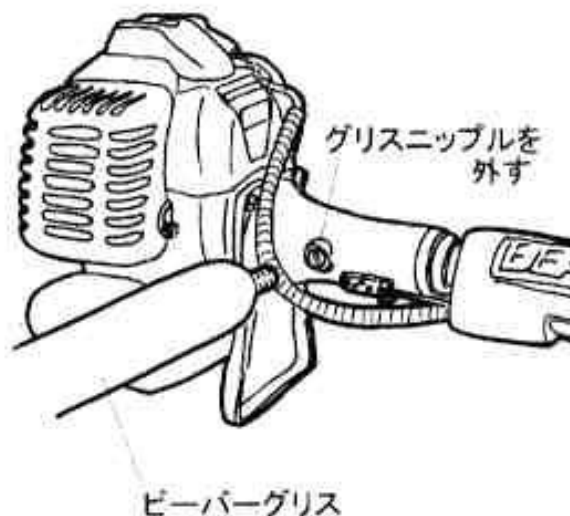
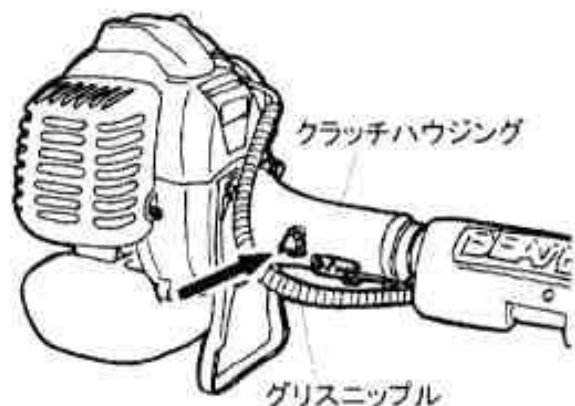
- ①エンジンをスタートさせアイドルから少し上がった位で回して下さい。
- ②クラッチハウジング部のグリスニップルよりグリスを補充して下さい。
- ③グリスだまりがいっぱいになったら、エンジンを回転させながらわずかず補充して下さい。

補足

グリスポンプも持ち合わせのない場合は、グリスニップルを外しピーパー純正グリスのチューブをねじ込んで補充して下さい。

重要

- ・グリスだまりの容量は 50cc ですので無理に入れないで下さい。強引に入れるとグリスがクラッチのほうへ流れ故障の原因となります。
- ・グリス不足になると振動が大きくなったり、ジャバラが過熱して被覆が破損することがあります。



▲注意

グリス補充時には刈刃が人や物に触れないように十分注意して下さい。

注油・清掃

- ・ エンジンのエアクリーナや冷却風の通り道に付着したほこりやゴミをていねいに取り除いて下さい。ゴミの付着はオーバーヒートの原因となります。
- ・ メインパイプ先端のベアリング支持部や、ACレバーの可動部に1ヶ月ごとに注油して下さい。

点検項目

点検部位	点検内容	処置
刈刃	・ 取付ナットのゆるみ ・ 割れ、曲がり ・ 刃先摩耗	・ 増し締め ・ 交換 ・ 交換
カッタシャフト	・ ガタ	・ ベアリング交換
ベアリングケース	・ 締付ボルトゆるみ	・ 増し締め
刃受金具	・ 内部に草などの混入	・ 清掃
飛散防護カバー	・ 締付ボルトゆるみ ・ 破損	・ 増し締め ・ 交換
ハンドル	・ 取付ボルトゆるみ ・ 破損、曲がり	・ 増し締め ・ 交換
ストップスイッチ	・ コードの抜け ・ コードの断線	・ 接続 ・ 交換
ACレバー	・ ダブルナットゆるみ ・ レバーの作動不良	・ 増し締め ・ 増し締め、または注油
エンジン取付部	・ 取付ボルトゆるみ	・ 増し締め
エアクリーナ	・ 目づまり	・ 清掃
冷却風の通路	・ 草、ほこりの付着	・ 清掃
燃料タンク	・ 傷によるもれ ・ 取付ネジゆるみ ・ キャップからのもれ ・ 燃料パイプに傷	・ 交換 ・ 増し締め ・ バッキン交換 ・ 交換
スロットルワイヤ	・ 動き不良 ・ 遊び不良	・ 交換 ・ 調整

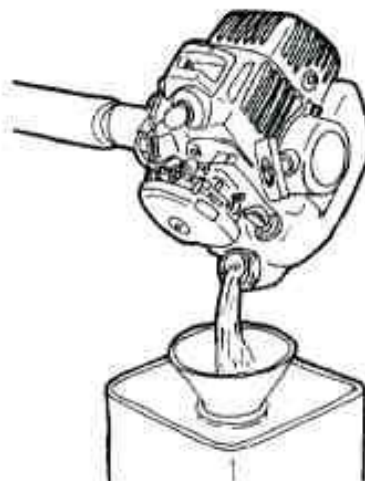
長期保管

- ① 清掃と注油を行った後、各部を点検して下さい。
- ② 燃料タンクより燃料を出した後、エンジンを低速で自然に止るまで運転してキャブレタ内の燃料を使い切して下さい。
- ③ 点火プラグを外し、2 サイクルエンジンオイルを数滴シリンダ内に注入しリコイルスタータを数回引きシリンダ内にオイルを塗り広げ、圧縮のあるところで止めて下さい。
- ④ ACレバーを一番前にもどし、移動時カバーを刈刃に取付け、チリやほこりの付着しないよう保管して下さい。

重要

- ・ 燃料は必ずエンジンから抜き取って下さい。エンジンの燃料タンク内へ燃料を長期入れておくと、

オイル分がキャブレタやフィルタ内で変質し、目づまりによる始動不良など故障の原因となります。



安全説明確認カード

下記の販売説明員から刈払機の安全な取り扱いと操作および保証書の内容について説明を聞きました。

フリガナ お客様のお名前	印
お客様ご住所	〒□□□-□□□□
お電話番号	TEL ()
ご購入商品 型式名	E-JC 刈払機
製造番号	No.
納入日	平成 年 月 日
説明日	平成 年 月 日
販売店住所	〒□□□-□□□□ TEL ()
販売店名	印
納入説明者	

保証書

ご購入者お名前	お買い上げ日 平成 年 月 日
ご購入者ご住所 お電話番号 ()	販売店名 電話番号 () 印
商品名・型式 ピーパー刈払機	製造番号 No.

お買い上げいただきました商品は厳重な商品管理のもとに製造されていますが、万一、材質または製造上の欠陥により故障が発生した場合は、下記の規定に従って無料で修理させていただきます。

● 保証の期間

この保証の有効期間は未使用商品お買い上げの日から1年間です。ただし、専門業者またはレンタル業者などを業としてご使用の方は、お買い上げの日から3ヶ月以内とさせていただきます。また、上記販売店記入欄が空白の場合は無効となりますので、お買い上げ時にご確認ください。

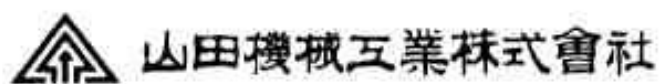
● 保証手続

この保証による無料修理（以下、保証修理と言います）をお受けになる際は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

● 保証外事項

次のいずれかの場合は保証修理または損失補填の責を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ・取扱説明書記載の注意事項に従わなかったり、日常点検整備を怠った結果生じた故障
- ・弊社の認めない改造およびそれらに起因する故障
- ・お買い上げ販売店または弊社特約店以外での修理およびそれらに起因する故障
- ・商品分解状態でのお持込み
- ・純正部品または指定品以外の使用に起因する故障
- ・商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなど感覚的な現象
- ・使用損耗および経年変化による外観の劣化（褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
- ・自然災害または事故、過失、不注意による機体の損傷
- ・消耗部品および油脂類（スパークプラグ、パッキン、ガスケット、エアクリーナエレメント、燃料フィルタ、コントロールワイヤ、バッテリーおよびこれらに類する消耗品、燃料、エンジンオイル、グリスおよびこれらに類するもの）
- ・修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費など）
- ・商品が日本国外で使用される場合（This warranty is valid only in Japan.）



本 社 〒651-2404 神戸市西区岩岡町古郷 1508 TEL 078(967)1481 FAX 078(967)3090